#### **2021 AUTOBACS SUPER GT Report**

**MOTEGI GT 300km RACE** 

第7戦 ツインリンクもてぎ

### **ZENT CERUMO GR Supra**

### #38 立川祐路/石浦宏明

◆11 月 7 日 (日) RACE 決勝結果 9 位

11月6日(土)の公式予選ではリヤのトラクション不足から、15番手と思わぬ順位となってしまった ZENT CERUMO GR Supra。とはいえ、決勝レースではまた違った展開になるのがSUPER GT だ。前戦オートポリスでの追い上げの再現を目指すべく、TGR



TEAM ZENT CERUMO は 11 月 7 日(日)の決勝日を迎えた。快晴に恵まれた ツインリンクもてぎにはひさびさに 1 万 2000 人ものファンが詰めかけ、賑わいをみせるなか午後 1 時からの決勝レースを迎えた。

ZENT CERUMO GR Supra は直前のウォームアップで、決勝レースに向けセットアップを煮詰め臨んだが、その甲斐あって前日よりも良いフィーリングとなっていた。予選 11 番手だった#64 NSX-GT がペナルティを受けていたこともあり、14 番手からスタートした ZENT CERUMO GR Supra のステアリングを握った立川祐路は、まずはオープニングラップをグリッドどおりの 14 番手で終える。ウォームアップから変わらず調子は良いが、ストップ・アンド・ゴーレイアウトのもてぎはオーバーテイクが容易ではない。

しかし、そこはさすが立川というところか、まずは 3 周目に#36 GR Supra をかわすと、 6 周目には#23 GT-R をオーバーテイク。12 番手につける。前方では、 4 番手の#16 NSX-GT を先頭とした 9 台の接近戦となっており、その後の

























レース展開によっては大きくジャンプアップすることも可能だった。 9 周目には GT300 の集団に追いつくと、SUPER GT らしいバトルとなっていく。立川にとっては得意とするシチュエーションだ。



そんななか、10 周目のヘアピンで#37 GR Supra が GT300 車両とヒットし、アウト側のグラベルにストップしてしまう。 これでレースコントロールから、フルコースイエロー (FCY) が提示される。その直前、GT300 の集団のなかで 11 番手だった#1 NSX-GT をかわしていた立川は、コクピット内に FCY の表

示が出るのを確認すると、FCY 中の制限速度である 80km/h に減速するまでのカウントダウンのなかで、減速作業を行いはじめた。

しかし3 コーナーでコーナリングに入った立川は、突然左リヤに衝撃を感じ スピンしてしまった。イン側にいた#1 NSX-GT が ZENT CERUMO GR Supra にヒットしたのだ。#1 NSX-GT のドライバーには FCY 表示が出ていなかった ようで、さらにコースサイドのポストにも FCY ボードが表示されていない状況 だったが、ZENT CERUMO GR Supra には FCY 表示が出ていたタイミング。その後 2 台の接触は『レーシングアクシデント』とする裁定が出たが、TGR TEAM ZENT CERUMO にとっては納得がいかない展開となってしまった。せっかくの 追い上げが、また振り出しに戻ってしまったのだ。

幸い ZENT CERUMO GR Supra にダメージはなく、立川はふたたび最後尾から追い上げを開始する。#3 GT-R のアクシデント、#37 GR Supra のペナルティ等もあり、少しずつ順位も取り戻しはじめ、集団に追いつくと、ZENT CERUMO GR Supra は#36 GR Supra とのギャップを縮めていった。



そんななか、23 周を過ぎると GT500 クラスのライバルたちが続々とピット作

























業を行いはじめる。ピットも立川をいつ呼び戻すかのタイミングをうかがい、 24 周を終えピットイン。石浦宏明に交代し ZENT CERUMO GR Supra をコース に戻した。全車がピット作業を終えると、ZENT CERUMO GR Supra の順位は 12 番手。コクピットの石浦のフィーリングは良好で、ふたたび追い上げをスタートさせた。

石浦は 38 周目、2 コーナーからの立ち上がりでペースに苦しむ#1 NSX-GT に並ぶとこれをオーバーテイク。さらに 41 周目、9 番手を走っていた#23 GT-R がトラブルによりピットイン。ついにポイント圏内の 10 番手となった。石浦はなかなか前を行く#36 GR Supra を抜くまでには至らなかったが、51 周目に#36 GR Supra が#39 GR Supra をかわすと、52 周目には石浦も#39 GR Supra をパス。9 番手に浮上した。



ただ、前戦オートポリスのようにはいかず、石浦の追い上げもここまで。ZENT CERUMO GR Supra は9位でフィニッシュした。予選での順位を考えれば、ポイント獲得は嬉しいところではあるが、もし序盤に立川が接触されていなければ、もっと上の順位だった可能性も高かった。この悔

しさは、最終戦でホームコースのレースである第8戦富士スピードウェイで晴らすしかない。今季の有終の美を飾るべく、TGR TEAM ZENT CERUMO は全力で最終戦に挑む。

#### ドライバー/立川祐路

「スタート位置がうしろだったので、なんとか追い上げられればと攻めて走ったのですが、いくつかポジションを上げられましたし、クルマのフィーリングも悪くないものでした。そのなかで#1 NSX-GT も抜いた



のですが、直後に FCY が出て、減速しはじめたところでヒットされてしまいました。それでレースが台無しになってしまい、FCY のカウントダウンが始まっていたので納得できないところもあるのですが、それを言っても仕方ないので、

























そこからなんとか追いつこうと頑張り、石浦選手に託しました。なんとかポイントを獲ることができましたが、正直不本意な週末だったので、最終戦の富士ではこの悔しさを晴らせるよう、頑張っていきたいと思います|

#### ドライバー/石浦宏明

「レース序盤の立川選手のペースを観ていても、ペースも悪くなさそうで、上位集団に追いついていたので、展開によってはさらに前にいけるかと期待していました。 ただ接触で順位を落としてしまったので、前戦



同様、またうしろから追い上げるしかないと思っていました。交代してからすぐに前に#1 NSX-GT や#36 GR Supra が見えていて、自分の方がペースは速いかと感じましたが、ペースが遅い2台は抜けたものの、#36 GR Supra は抜くことができませんでした。そこは悔しさがあります。今回は予選から前にいけず、タイヤ選択を含め反省点が多いレースになりました。もっと緻密にやらなければならないことも多いので、最終戦までにしっかりと詰め、良い形で今季の最後のレースを終えられればと思っています|

#### 村田淳一監督

「14 番手からのスタートで9位になりましたが、ウォームアップで微調整を行い、それが良い方向に向かったと思います。ペースは良かったのですが、少しタイヤの使い方で苦しんだところはありましたね。戦えるクルマではあったので、ドライバーがふたりとも順位は上げてくれました。4位争いの戦いのなかで追突されなければ、もっと上の順位にいけただけに非常に残念ですね。FCYのカウントダウンが始まっている状態での追突だったので、我々としても疑義は提出しましたし、あの接触でペナルティが出ない裁定に対し不満に思っています。我々のレースは台無しになってしまいましたからね。そんな中でなんとかポイントは獲れましたし、1年戦ってきてエンジニアリングの体制も少しずつ上がっているので、ホームコースの富士で一矢報いたいと思っています」





















































#### 決勝結果表

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	8	ARTA NSX-GT	63	1'40.137
2	19	WedsSport ADVAN GR Supra	63	1'39.998
3	12	CALSONIC IMPUL GT-R	63	1'40.411
4	17	Astemo NSX-GT	63	1'40.365
5	16	Red Bull MOTUL MUGEN NSX-GT	63	1'40.168
6	14	ENEOS X PRIME GR Supra	63	1'40.367
7	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	63	1'40.531
8	36	au TOM'S GR Supra	63	1'41.496
9	38	ZENT CERUMO GR Supra	63	1'40.522
10	37	KeePer TOM'S GR Supra	63	1'40.510
11	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	63	1'40.734
12	1	STANLEY NSX-GT	63	1'40.764
13	64	Modulo NSX-GT	63	1'40.882
14	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	59	1'40.517
15	23	MOTUL AUTECH GT-R	55	1'41.284























